



2009年8月30日

# いま起きつつあること…

村上伸先生の  
平和講演会から



## はじめに

これからしばらくの間、今年の5月16日に行われた神学社会委員会主催平和講演会「死刑をどう考えるか——裁判員制度が始まるにあたって」(村上伸講師)の内容を紹介したいと思います。すでに裁判員制度が始まっていますが、この制度は一般市民が死刑判決に直接関与する可能性のある制度です。神学社会委員会では、死刑に対する様々な意見、それらの是非を提供することによって、皆さ

## 死刑廃止は世界の大勢

アムネスティーアンタ

ナショナル日本の統計によると、近年、急激に死刑執行数が増えている日本は、北朝鮮について世界第10位という結果が明らかになりました。地域的に見て、アジアが最も多く、ヨーロッパでは旧ソ連のベラルーシだけが今も死刑を執行している唯一の国です。世界の現状はそのような状況にあります。

国連は、2007年、08年と2年続けて「死刑執行停止を求める決議」を採択しました。ヨーロッパ連合(EU)では、死刑が廃止されおり、EUに加盟するためには、まず死刑を廃止しなければなりません。現在、世界中で死刑制度を保持している

人の裁判員制度へかかわり方を決める一助になればと願い、この講演会を企画しました。

## 日本の現状

日本は世界の趨勢に逆らつよう、死刑執行の数は急速に増えています。1979年から2005年までは年間1人~2人の執行数が、2006年は4人、2007年は9人、2008年は15人と、ほぼ倍

国・地域は59、廃止した国は138、2008年に死刑を執行した国は25か国だけです。死刑制度がある59の国・地域の中で、市民が刑事裁判に参加して死刑判断にかかわる主要国は、陪審員制度のアメリカと裁判員制度の日本で、日本は世界有数の死刑執行国なのです。死刑の執行数が多い中国でも、注目を集めた死刑事件では人民陪審員制度が採用されています。国民参与制度の韓国は、死刑制度はあるけれども、10年以上、死刑を停止しています。そのために59の中には含まれていません。

二つ目は「人を殺すな」という十戒を取り上げています(この件については、後でまた取り上げます)。そしてさらに、死刑の威嚇力はゼロであることをあげています。死刑を廃止すると凶悪犯罪が増えるのではないかと心配する動きもありますが、そのようなことはありません。死刑に威嚇力はないのです。現に法務大臣が3人を死刑にして間もないうちに、秋葉原の無差別殺人事件が起きました。

増の勢いなのです。

カトリックの神父、ホセ・ヨンパルト神父(上智大学名誉教授)は、「どうして死刑を廃止すべきなのか」という